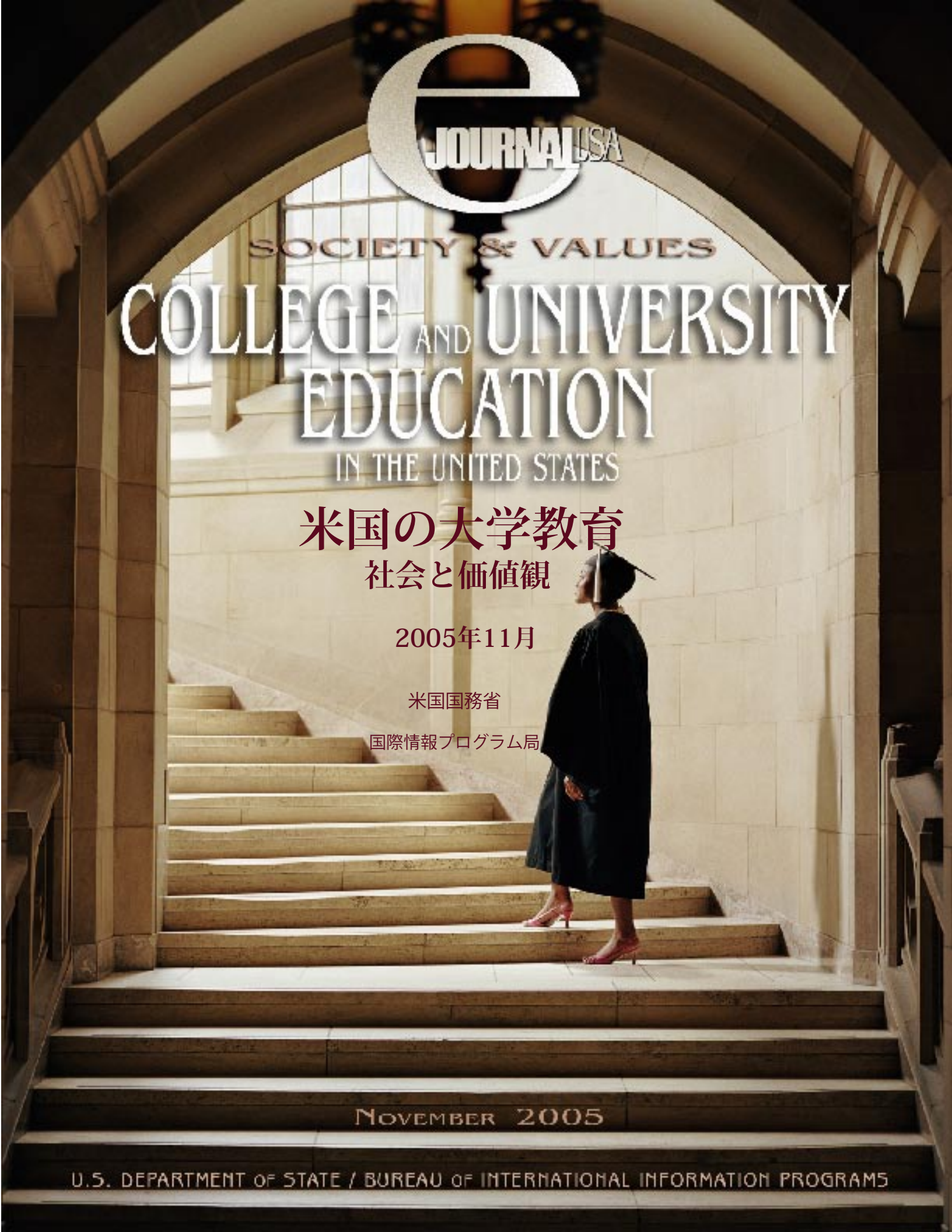
eJOURNAL USA
SOCIETY & VALUES
COLLEGE AND UNIVERSITY EDUCATION
IN THE UNITED STATES
米国の大学教育
社会と価値観
2005年11月
米国国務省
国際情報プログラム局
NOVEMBER 2005
U.S. DEPARTMENT OF STATE / BUREAU OF INTERNATIONAL INFORMATION PROGRAMS

社会と価値観

編集長 .....Michael Seidenstricker
副編集長 ..... Robin L. Yeager
共同編集者..... Michael Jay Friedman
Rosalie Targonski
参考資料担当 ..... Mary Ann Gamble
Kathy Spiegel
表紙デザイン ..... Diane Woolverton

写真編集.....Ann Monroe Jacobs
発行人.....Judith S. Siegel
編集主任.....George Clack
編集主幹.....Richard W. Huckaby
制作.....Christian Larson
制作補佐.....Chloe Ellis
編集委員.....Alexander C. Feldman
Jeremy F. Curtin
Kathleen R. Davis
Kara Galles

表紙写真：Ryan McVay/Taxi/Getty Images

米国国務省の国際情報プログラム局は、eJournal USAのロゴ名で５種類の電子ジャーナル（「Economic Perspectives（経済展望）」「Global Issues（グローバルな課題）」「Issues of Democracy （民主主義の問題）」「U.S. Foreign Policy Agenda（米国外交政策アジェンダ）」「U.S. Society & Values（米国の社会と価値観）」）を発行し、米国や国際社会、そして米国の社会や価値観、考えや様々な制度が直面する主要な問題について検証しています。５種類のジャーナルはそれぞれ、発行巻数（出版された年の番号）と、号数（１年間に発行された各号の番号）別に目録に掲載されます。

最新号は毎月、まず英語で発行され、２～４週間後にフランス語、ポルトガル語、スペイン語、ロシア語版が発行されます。必要に応じて、アラビア語や中国語など他の言語の翻訳版が発行される場合もあります。

ジャーナルの中で提示された意見は、必ずしも米国政府の見解や政策を反映するものではありません。米国国務省は、ジャーナルがリンクするインターネット・サイトの内容、およびこれらのサイトへの継続的な利用の可能性について、一切の責任を負いません。各サイトについての責任は、サイトの発行者のみに帰属するものとします。ジャーナルに掲載される記事や写真、イラストは、著作権についての明記がない限り、米国以外での複製や翻訳を認めますが、明記されてあるものについては、ジャーナルに記載されている著作権保有者の許可を得なければなりません。

国際情報プログラム局は、http://usinfo.state.gov/journals/journals.htmで、ジャーナルの最新号とバックナンバーを数種類のデータ形式で提供するとともに、これから発行予定ジャーナルのリストを掲載しています。ご意見等は、最寄りの米国大使館、または下記の編集部までお寄せください。

Editor, eJournal USA: Society & Values
IIP/T/SV
U.S. Department of State
301 4th St. S.W.
Washington, D.C. 20547
United States of America
電子メール：ejvalues@state.gov

ごあいさつ

カレン・ヒューズ国務次官

eJournal USA 2005年11月号をお届けします。米国の高等教育に関心を持っていただき、ありがとうございます。米国は、研究と学習に最適の場所です。私の息子も昨年の秋に大学に入学しました。ですから、この時期、学生やご家族が、どんなに期待に満ちているか分かります。希望する専攻分野や、大学の規模にかかわらず、米国には無限ともいえる選択肢があります。このジャーナルが、皆さんの大学探しのきっかけとなることを願っております。

学術的機会に恵まれていることは、米国で学ぼうとする理由のひとつにすぎません。米国で学ぶ学生は、知的探求や政治的討論、宗教・芸術表現を行う自由に恵まれています。また、米国で学ぶことは、さまざまな国籍や文化を持つ学生たちの友好と相互理解を育む役割を果たしています。

米国の大学のほとんどは、留学生を受け入れることによる恩恵を受けています。2004-2005学年度には、190カ国、56万5000人を超える留学生が、米国のキャンパスで学びました。また、多くの米国の大学は、海外滞在・留学制度を通じて、学生が豊かな外国文化を体験し、視野を広げることを奨励しています。

皆さんが次世代の留学生として米国で学ぶ決意を固める上で、本号がお役に立つよう願っております。そして、皆さんを米国にお迎えする日をお待ちしております。

カレン・ヒューズ
広報文化・交流担当国務次官

序文

マーガレット・スペリングズ
教育長官

マーガレット・スペリングズ教育長官

米国の高等教育制度に関心をお持ちいただき、ありがとうございます。私たちは、次世代の世界の指導者を育てる米国の大学を誇りとしています。

毎年、世界中から何十万人もの留学生が米国にやってきます。留学生が独自の視点をもたらすことで、すべての学生の大学生活が豊かなものになります。

米国の高等教育制度は、他国の制度とは異なっています。米国の制度は地方への権限委譲が進んでおり、大規模な総合大学からコミュニティーカレッジ、そして職業・専門学校まで、非常に幅広い選択肢があります。米国教育省は、資金その他の面で高等教育支援していますが、中央の監督官庁としての機能は果たしていません。米国ではほとんどの大学が自治組織であり、高い独立性と自由を享受しています。

今年、私の長女が大学に入学しました。私にとって、娘が家を出るのは寂しいことでしたが、彼女の大学入学は、私の人生の中で最も誇りに思う出来事のひとつでもありました。どの親御さんにも、このような誇りを感じる機会が訪れることを願っています。米国教育省は、機会の拡大を最優先事項のひとつとしています。私たちは、学資援助を通じて、より多くの学生が高等教育を受ける夢を実現することに貢献すべく尽力しています。

最近、私は、高等教育の機会拡大に向けた国家戦略の策定について助言を行う新しい委員会を設置しました。経済のグローバル化が進んでいる今日、最も高い技能を備えた労働者が、最も条件の良い雇用を獲得します。現在、最も急速に成長している雇用のうち、およそ80％は、何らかの中等後教育を必要とするものです。従って、大学教育の重要性が、これまで以上に高まっています。

このジャーナルは、米国の高等教育における数々の機会を紹介するものです。この情報が皆様のお役に立つことを願っております。さらに詳しくは、ウェブサイトhttp://www.educationusa.state.gov　をご覧ください。

本号について

米国の大学は、種類が豊富で、カリキュラムや専攻分野もほぼ無限に存在しており、多様性、寛容、そして優秀性の追求という、この国の最大の長所を象徴している。このジャーナルは、海外からの留学生とその父母やアドバイザー向けに作成したものであり、米国の高等教育制度や米国の大学での学究生活・学生生活についての情報が記載されている。

化学の厳しい講座の受講、インターンシップによる職場での実習体験、遠隔学習やワールドワイド・ウェブでの拡張講座や情報提供を利用した豊かな教育体験、あるいは芸術的才能の追求など、米国の学生は、さまざまな分野で、自らの可能性をフルに発揮できる教育機関やカリキュラムを見つけることができる。

米国の高等教育制度は、全国的な制度が存在しないという点で、他のほとんどの諸国の制度と異なっている。アメリカ合衆国憲法では、特に連邦政府の機能と定められていない政府機能は、すべて各州に留保されるものと規定している。従って、大学およびその他の高等教育機関を設立、統治、および規制する責任は、主として各州にある。

各州は、教育機関の設置を認可するが、学校の認定をしたり、質を保証したりすることはない。教育機関の認定制度は、民間の非営利組織が運営している。この点については、別途囲み記事で詳述する。

このジャーナルには、米国の各種高等教育機関に関する説明に加えて、個々の大学の各種プログラムを紹介した記事、また「専攻」という概念、大学生活、そして米国式の授業に関する記事が掲載されている。記事の内容をさらに充実させるために、多くの写真やビデオを用いた。米国の高等教育制度における学校の選択、入学願書の提出、および学資に関する助言を求める学生のための情報も提供している。その中でも、最も役に立つ情報源としては、EducationUSAの教育相談センターとそのウェブサイト（http://educationusa.state.gov/）などが挙げられる。海外からの留学希望者は、必要な成績証明書などを入手・提出し、必要な試験を受けるために、願書提出期限の少なくとも 1 年前から手続きを始めることが望ましい。

eJournal USA：社会と価値観 の本号を作成する中で、私たちは、大学生活の体験が学生にとっていかに重要なものであるかを再認識した。私たちが話を聞いた人たちは、例外なく、自分や家族の出身校、あるいは現在家族が在籍している学校を取り上げてほしいと語った。このような母校への連帯感は、卒業後何年もたっている人たちにも見られ、大学での体験が、人格形成、知的挑戦、そして共通性の追求に果たす役割を再確認させてくれる。

米国の高等教育の全貌をできるだけ完全な形で紹介するために、このプロジェクトに情報および写真や記事を提供してくださった何十校もの大学や教育機関の熱心なご支持に、心から感謝している。しかしながら、そうした情報や写真の使用は、特定の学校あるいは組織を推薦するものではない。

このジャーナルは、米国国務省と同教育省の共同イニシアチブである「国際教育週間」（2005年11月14～19日）に合わせて作成された。このイニシアティブは、米国民をグローバルな環境で活動できるように教育するプログラムを促進するとともに、外国の未来の指導者が米国で学び、研究し、交流することを奨励するためのものである。

編集者一同

社会と価値観

米国国務省　2005年11月　第10巻　第２号
www.usinfo.state.gov/journals/journals.htm

米国の大学教育

i　ごあいさつ
カレン・P・ヒューズ広報・文化交流担当国務次官

ii　序文
マーガレット・スペリングズ教育長官

iii　本号について

各種教育機関

4　米国の公立大学
ミネソタ大学学長　ロバート・H・ブルーニンクス
一般的に、州立大学には数万人の学生が在籍しており、教科課程は何百にも上る。

6　大規模な私立研究大学とは？
エモリー大学学長　ジェームズ・W・ワグナー
私立大学は、民間資金を利用して、研究を新たな方向へ大胆に進めることができる。

8　米国のコミュニティーカレッジ - 多くの学生が選ぶ高等教育への入り口
全米コミュニティーカレッジ協会会長
ジョージ・R・ボッグズ
地元で学びたい学生や、学費を低く抑えたい学生にとっては、２年制大学は魅力的な選択肢である。

10　多様性の力 - 米国の高等教育における独立した部門
独立大学協議会会長　リチャード・エクマン
小規模な私立大学は、授業、および学生と教授陣の交流に重点を置く。

12　少数民族のための教育機関
アフリカ系米国人、ヒスパニック、アメリカン・インディアンなど、少数民族の学生に重点を置く教育機関もある。

14　「ブラウン」判決から50年 - なぜ伝統的黒人大学(HBCU)が今も重要なのか
スペルマン大学学長　ベバリー・ダニエル・テータム
アフリカ系米国人学生のアイデンティティーの再確認に、HBCUが果たす独自の役割を、教育者の立場から述べる。

16　宗教系大学
アメリカカトリック大学学長　デービッド・M・オコネル師
宗教系教育機関は、信仰を通じた学習の伝統が高等教育に「付加価値」をもたらすと考えている。

18　専門大学
米国国務省国際情報プログラム局専属ライター　マイケル・ジェイ・フリードマン
専門のカリキュラムを持つ学校の一例としては、芸術、経営、軍事訓練に特化した大学がある。
補足記事 - 大学のランキング、米国の「トップ」大学、経営学と工学の優秀大学、アイビーリーグの大学、EducationUSA、国際教育週間

23 写真で見るカレッジ･ライフ

クローズアップ

28 ペンシルベニア大学国際関係プログラム
米国国務省国際情報プログラム局専属ライター　マイケル・ジェイ・フリードマン
国際的な仕事に就けるよう学生を訓練する学際的プログラム。
補足記事 - 米国の大学認定制度について

30 留学生が見つけた新しい故郷とグローバルな目的
アールハム･カレッジ元広報担当ディレクター　リチャード・ホールデン
アフガニスタンやケニアからの留学生が、その体験と大志を語る。

32 社会奉仕
米国国務省国際情報プログラム局専属ライター　ロビン・L・イエーガー
多くの大学では、学生にサービスラーニングその他のボランティア活動の機会を与えて、学生に実務的学習の機会を提供しながら地域社会を支援するとともに、奉仕の精神を奨励している。

35 ７つのスナップショット - 教育機会の実例
国務省の外国人職員のグループが、米国の大学７校で留学生に与えられる機会について評価したレポートの概要。

制度の説明

39 大学の専攻科目の選択
国際教育研究所大学進学サービス担当ディレクター　リンダ・トバシュ
大学生の正しい専攻の選び方について専門家が実用的な助言を行う。
補足記事 - 専攻の選択とキャリアの選択、学年度、学士号取得要件、役立つウェブサイト

47 学部の授業体験
国際教育研究所大学進学サービス担当ディレクター　リンダ・トバシュ

ONLINE VIDEO

オンライン・ビデオ
異邦人：留学生の体験

留学生が米国に来た最初の数カ月に経験した出来事を紹介した、ダートマス大学制作のビデオの抜粋。
http://www.usinfo.state.gov/journals/itsv/1105/ijse/ijse1105.htm

大学生に期待されることや、さまざまな大学の課程を著者が紹介する。
補足記事 - 成績評価

50 米国の大学で学ぶためにかかる費用
米国で学ぶための資金を調達しようとする留学生のための情報源
補足記事 - 授業料その他納付金と、大学生活のための総費用図 - 大学生の予算サンプル

53 学資援助の可能性
在ハンブルク（ドイツ）米国総領事館文化担当専門官　マルティナ・シュルツ
学資援助制度は、学部生より大学院生向けのものが多い。

54 留学生を歓迎する米国のコミュニティーカレッジ
全米コミュニティーカレッジ協会コミュニティーカレッジ・タイムズ紙　ジェニファー・バーチャム
コミュニティーカレッジ・タイムズ紙の記事を転載。当然、コミュニティーカレッジを重点的に説明しているが、「歓迎」のメッセージは、米国のあらゆる高等教育機関で学ぶすべての留学生に向けられている。
補足記事 - 留学生アドバイザーとは？

56 参考文献一覧

58 役立つウェブサイト